

高岡市上下水道ビジョン（見直し）（案）についてのパブリックコメント実施結果

上下水道局では、令和4年2月10日から令和4年3月11日までの期間、高岡市上下水道ビジョン（見直し）（案）についてのパブリックコメントを実施しました。  
 いただいたご意見に対する上下水道局の考えを、以下のとおりまとめ公表します。

No	ご意見の要旨	上下水道局の考え方
1	大雨が発生しても道路上に滞水することなく、浸水被害を最小限に出来るよう雨水幹線の整備に尽力を尽くして欲しい。	気候変動を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる「流域治水事業」や「高岡市緊急浸水対策行動計画」に基づき、引き続き浸水被害の軽減化に向け、雨水幹線等の整備を進めます。
2	・水道施設の長寿命化の推進 射水市での水道管の破裂、氷見市でのトラブル、立山町での断水、和歌山でも大規模な断水がありました。災害もありますが、老朽化した施設が原因となるケースが多いように感じます。施設をぎりぎりまで使うとトラブルのリスクが高まり、早く更新すると無駄なお金が出ていきます。難しいとは思いますが両立するバランスをとっていただきたいです。	水道施設の更新にあたっては適切な資産管理のもと、アセットマネジメントに基づき計画的に進めます。また、施設保全計画に基づいた日常点検や定期点検を実施するとともに、立ち入ることが困難な高所や水域上ではドローン（無人航空機）を活用するなど、維持管理の効率化を図り施設の健全性を保っていきます。
3	市の財政が厳しいことは承知していますが、水道や下水道の料金値上げは生活に直結しますので、出来るだけ効率的な経営をしていただきますようお願いいたします。	継続的な業務の効率化などにより維持管理費を中心としたコスト縮減に努め、財政の健全化を図りながら、持続可能な事業運営に努めてまいります。
4	将来的に、水需要の減少により、料金収入の減少が見込まれます。その中、水道管・その他設備の老朽化による更新等の建設費がかかります。受益者に安定した供給する上で、受益者に対し相応分の負担が、上下水道料金に反映されるかと思いますが、過度な受益者負担は、さらに水需要の減少につながるのではないかと推測します。料金制度の見直しの際に、受益者に対し分かりやすく納得のいく説明と、公平な受益者負担をすることが必要だと思います。	水需要の減少や大量の施設が更新時期を迎えることなど事業環境は厳しさを増してはいますが、適切な資産管理を図るうえで、効率的な事業運営と経営基盤の強化に努めてまいります。その上で料金制度の見直しが必要な際には、利用者の皆さまからのご理解が得られるよう十分な説明を行ってまいります。
5	・N（4）DXの推進 水道スマートメーターの設置をしてほしいです。理由としては、水道メーターが敷地の奥にある事で検針員が入って来るとはわかっていても、毎回日時が決まっているわけではなく急に人影を見るとビックリすることがあります。また、昨今の異常気象によりメーターが見れない時があるので、その解消にもなると思います。	水道スマートメーターの実証実験を実施し、実用性の検証を行います。費用対効果や地域毎における課題を整理し、効果的な導入を検討していきます。
6	家の敷地内に入って水道検針してもらおうが、他人に敷地内に入られるのが怖い・不安と感じる人もいるので、スマートメーターにして欲しい。	水道スマートメーターの実証実験を実施し、実用性の検証を行います。費用対効果や地域毎における課題を整理し、効果的な導入を検討していきます。
7	早く下水道を整備していただきたいです。	生活環境の向上と公共用水域の水質保全に向け、公共下水道の整備を計画的に進め未普及地域の解消を図ります。また「高岡市生活排水処理基本計画」に基づき、本市における汚水処理施設の早期概成に取り組みます。
8	・危機管理体制の強化 災害などによる断水に備え、高岡市でも給水車などの配備を進めて頂きたいです。	緊急時の飲料水輸送の際に迅速な対応ができるよう給水車の増車を図ります。
9	持続課題として、料金収入が減収している中で、ロス削減の為、本管側の漏水を発見する取り組みを行うと良いと思います。	民間事業者が保有する最新機器や高い技術力を活用し、本管を含む水道管のきめ細かな調査を実施し、漏水の早期発見に取り組んでいきます。
10	富山の高岡の水がこれからもずっと飲めるように、しっかりと管理して守って欲しい。	「高岡市水安全計画」に基づく、水質管理体制の徹底により、より一層の安全で安心な水道水の供給に努めます。